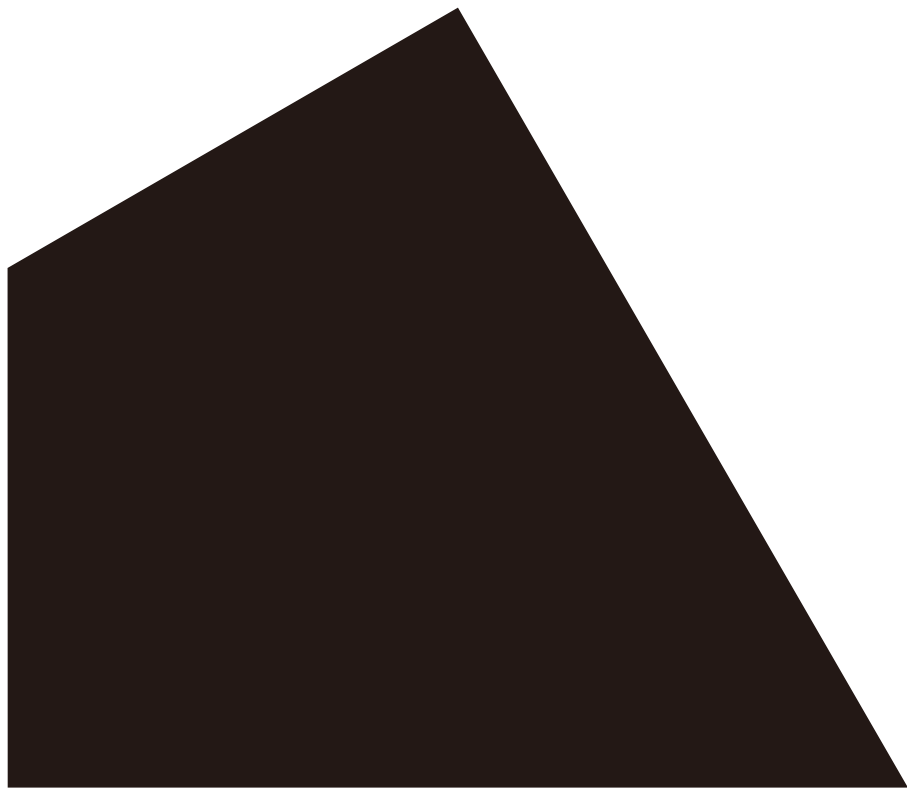


文
化

Culture



物語の可能性

千年前に成立した『源氏物語』をはじめ、京都は歴史的、文化的に多様な物語を多彩なメディアを通してつむいできました。サブカルチャー、鉄道、宇宙へと広がる自由な想像力とその可能性を感じてください。

The Potential of Stories

Starting with The Tale of Genji, written over 1,000 years ago, Kyoto has woven a rich tapestry of stories—both historical and cultural—through a broad range of media. Experience the boundless imagination and possibilities, which extend to subcultures, railways, and even into space.

- 1 京都国際マンガミュージアム／京都精華大学
Kyoto International Manga Museum / Kyoto Seika University
- 2 京都鉄道博物館
Kyoto Railway Museum
- 3 一般財団法人花山宇宙文化財団
Kwasan Astro-Culture Foundation

1-1

マンガ文化の発信地・京都

京都国際マンガミュージアムとは？

京都市と京都精華大学の共同事業により、日本初の総合的なマンガのミュージアムとして2006年に開館。江戸期の戯画浮世絵から明治・昭和初期の雑誌、現在の作品まで、約30万点を収集・保存し、展示などに活用しています。

マンガの作画道具を展示

ここで展示するマンガの作画道具は、マンガをアナログで描く場合の道具の一例です。当館では、こうした道具の一部を使い、マンガの描き方体験のワークショップを行っています(事前予約制)。

マンガの作画を実演

土日祝日に、マンガ家が作画する工程を間近に見られる「マンガ工房」コーナーを開設。この会場でも以下の期間で「マンガ工房」の出張開催を行います。
「マンガ工房」出張開催 5月5日(月)、6日(火)、10日(土)、11日(日)13:00~14:30/15:00~16:30



京都国際マンガミュージアム／京都精華大学
京都市中京区烏丸通御池上ル



1-2

原画'(ダッシュ)—マンガ家の技と歴史を後世に残す

世界中で愛されるマンガ

各国でマンガの文化的な価値が高まるなか、マンガ家の筆致を間近に感じられる原画に注目が集まり、マンガの原画展が増えています。しかしながら、マンガの原画は印刷を前提に作られており劣化しやすく、長期の展覧会では褪色の恐れもあります。

マンガの原画の保存と公開のために

「原画'(ダッシュ)」は、原画の状態をそのまま再現する複製原画のプロジェクト。マンガ家のテクニックだけでなく、欄外の指示書きなどから、編集者の仕事や印刷所の工程などを垣間見ることができます。

原画ダッシュコレクションより8点を展示

本プロジェクトは、マンガ家の竹宮恵子氏と京都精華大学が2001年から共同で研究・制作。現在までに28名のマンガ家が参加し、約900点のコレクションがあります。それらは原画に代わり国内外の展示で活用されています。



京都国際マンガミュージアム／京都精華大学
京都市中京区烏丸通御池上ル



2

明治以降の日本の発展を支えた鉄道文化

日本最大級の鉄道博物館

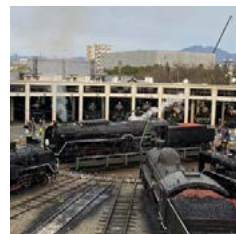
京都鉄道博物館は2016年4月の開業以来、日本・世界各地から多くの方が来館しています。すべての年代が、「見る」「さわる」「体験する」ことを通じて、楽しみながら鉄道の歴史・技術・文化を学ぶことができる日本最大級の鉄道博物館です。日本の近代化を牽引した蒸気機関車から新幹線まで54両の鉄道車両、本物の蒸気機関車が牽引するSLスチーム号乗車など数多くの展示があります。

日本最大の旅客用蒸気機関車と扇形車庫

旅客用として日本最大のC62形蒸気機関車2号機が、実際に動く様子を動画で紹介します。「扇形車庫」は、現存する最古の鉄筋コンクリート造りの機関車庫として、国の重要文化財に指定されています。



京都鉄道博物館
京都市下京区観喜寺町



3-1

かざん

花山天文台

～昭和初期のモダン建築と太陽観測～

歴史ある現役の望遠鏡

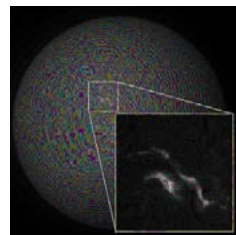
花山天文台は、清水寺の裏の東山にある京都大学の施設です。1929年の設立以来、火星観測や太陽観測で世界的な成果をあげてきました。「アマチュア天文学の聖地」とも呼ばれます。

昭和初期のモダン建築

1929年完成の建物（本館、別館、歴史館）は、昭和初期の貴重な建物として、2014年に「京都を彩る建物や庭園」に認定されました。

リアルタイムの太陽観測

晴天時には、リアルタイムの太陽プロミネンスが観望できます。太陽活動が活発な時には、フレア観望のチャンスも。



一般財団法人花山宇宙文化財団

京都市山科区北花山大峰町 京都大学 花山天文台内

3-2

かざん

花山天文台第3代台長 宮本正太郎博士の手作り火星儀

宮本博士の火星観測

宮本博士は、火星の気象を世界に先駆けて明らかにしました。1956年から1976年まで花山天文台の望遠鏡を用いて火星を眼視観測し、とても詳細なスケッチを残しています。

火星の偏東風を発見

1956年にはスケッチに描き出された模様の変化から、偏東風という大規模な気流を発見しました。地球の中緯度帯では偏西風が吹いていますが、火星の気象は地球と全く異なることが明らかになりました。

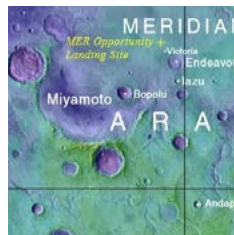
火星のクレーターMiyamoto

2007年に火星のクレーターが、博士にちなみMiyamotoと命名されました。Miyamotoクレーターはアメリカの火星探査機Opportunityが着陸した近くにあります。



一般財団法人花山宇宙文化財団

京都市山科区北花山大峰町 京都大学 花山天文台内



京瓦「キモノタイル」に覆われた 空間デザインと映像・音楽によるノンバーバル表現

オリジナルの京瓦「キモノタイル」によって
質感を統一したミニマルかつ静謐な空間を通じて、
来場者がじっくりと京都の未来と過去に
向き合えるような体験を創出します。
さらに、そこに加わるノンバーバルな映像と音響は、
空間と一体となりながらその多面的な魅力を物語ります。



映像紹介



八幡宮大杉

撮影地：中川八幡宮（京都市北区）



北山杉の生える山

撮影地：北山林業地（京都市北区）



建仁寺垣を作る手

撮影地：三木竹材店（京都市南区）

協力者：三木竹材店



白竹の磨きをする手

撮影地：三木竹材店（京都市南区）

協力者：三木竹材店



できたばかりの建仁寺垣

撮影地：三木竹材店（京都市南区）

協力者：三木竹材店



紙漉きをする手

撮影地：黒谷和紙会館（京都府綾部市）

協力者：黒谷和紙協同組合



漉きたての和紙の耳

撮影地：黒谷和紙会館（京都府綾部市）

協力者：黒谷和紙協同組合



雲海

撮影地：かめおか霧のテラス（京都府亀岡市）

映像紹介



丹後ちりめん

撮影地：スタジオ(京都府京丹後市)
(京都府与謝郡与謝野町)
協力者：丹後織物工業組合



ジャガードの紋紙(もんがみ)

撮影地：株式会社川島織物セルコン
(京都市左京区)
協力者：株式会社川島織物セルコン



京焼

撮影地：スタジオ(京都市東山区)



回るろくろの上で形になる土塊

撮影地：瑞光窯(京都市東山区)
協力者：瑞光窯 東山工房店



おおすみはやとまい

大住隼人舞の盾

撮影地：スタジオ(京都府京田辺市)
協力者：大住隼人舞保存会



おしお

まつ

小塩の上げ松

撮影地：京都市右京区京北小塩町(京都市右京区)
協力者：小塩上げ松保存会



能面(小面)

撮影地：スタジオ
協力者：能面師 宇高景子



比叡山山麓から見た京都と大阪の夜景

撮影地：登仙台展望台(京都市左京区)

映像紹介



らくちゅうらくがいづびょうふ ふなきほん
洛中洛外図屏風(丹木本)

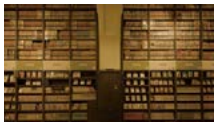
いわさまたべえ
岩佐又兵衛

協力者:東京国立博物館蔵



そでし たなだ
袖志の棚田

撮影地:京丹後市丹後町(京都府京丹後市)



京都国際マンガミュージアムの書架
「マンガの壁」

撮影地:京都国際マンガミュージアム
(京都市中京区)

協力者:京都国際マンガミュージアム



香炉から香が立ちのぼる様子

撮影地:スタジオ



マンガ作画の様子

撮影地:京都国際マンガミュージアム
(京都市中京区)

協力者:京都国際マンガミュージアム



鏡板

撮影地:金剛能楽堂(京都市上京区)

協力者:金剛能楽堂

じゅんおんはいけい

巡音拝景

京都府の今の音と、文献などに記述された音をあつめ、
そこに新たな音を配置(Composition=作曲)して制作する。

1996年に環境省(当時環境庁)は「全国各地で人々が地域のシンボルとして大切にし、将来に残していきたいと願っている音の聞こえる環境(音風景)を広く公募し、音環境を保全する上で特に意義があると認められるもの」として「残したい“日本の音風景100選”」を選定した。それから約30年が経ち、改めて京都府の音を取り上げる。温暖化が加速し、四季が失われつつある現代において山や森林など木々は大変重要で貴重なものである。京都府には豊かな自然があり、美しい音が存在している。自然がこれからも失われないことを祈りながらフィールドレコーディングをした。前述の「音風景100選」で取り上げられたものに加え、新録している。

さらに文学の中にも多くの音の記述がある。録音技術が生まれる以前には古来から人々はことばを使って音を集めた。こういった音を集めることもフィールドレコーディングである。

フィールドレコーディングリスト

Part-1 るり溪(南丹市) 船着場(伊根町) 舞鶴港(舞鶴市) 宮津湾(宮津市) 石清水八幡宮(八幡市)

Part-2 京都御所玉砂利(京都市) 清水寺(京都市) 鹿(京都市) 大江山(福知山市) ちりめん街道 天満神社(与謝野町)

Part-3 琴引浜(京丹後市) 琴滝(京丹波町) 宇治川(宇治市) 真福寺水琴窟(亀岡市) 妙心寺(退蔵院) 水琴窟(京都市)

Part-4 綾部大橋由良川(綾部市) 美濃山竹林(八幡市) 興聖寺(宇治市) 古世親水公園(亀岡市) 詩仙堂鹿おどし(京都市)

御香宮神社(京都市) 雷雨(京都市)

記述されたものからのフィールドレコーディングリスト

大原『平家物語』 鐘の音、鹿の音、虫の音

野宮『源氏物語』 虫の音、松風の音、雅楽の楽器の音

宇治『万葉集』 宇治川にして作る歌二首 1699-1700 雁の鳴き声、川の音

法成寺『栄花物語』 卷第十七「おむがく」 雅楽の演奏音

丹後『丹後国風土記』 逸文 嘆く声、歌

福知山『大江山絵詞』 雷、田楽

石清水八幡宮 世阿弥 能『弓八幡』、『放生川』 不思議な音楽、夜神楽の音

法勝寺『弁内侍日記』 後戸猿楽、鈴の音

谷崎潤一郎 潺湲亭「夢の浮橋」 添水(しおどし)の音

琴弾浜 木内石亭『雲根志』 海辺の砂浜の音

『蜻蛉日記』 車の音

『洛陽田楽記』 永長の大田楽

作・編曲:原 摩利彦

ギター:Polar M

フィールドレコーディング協力:村中真澄

リサーチ協力:原 瑠璃彦

音響デザイン:中原楽(KARABINER inc.)

株式会社 大城音響事務所

制作:MH Studio Inc. / TSUYURI

空間デザイン協力	Space design cooperation
Sandwich	Sandwich
京瓦タイル「キモノタイル」製作協力	Kyoto tile "Kimono tile" production cooperation
株式会社京瓦 浅田製瓦工場	ASADA KAWARA FACTORY
テーマ映像制作	Theme video production
株式会社 青空	AOZORA,LTD
テーマ音楽制作	Theme music production
原 摩利彦	Marihiko Hara

大阪・関西万博きょうと推進委員会